

# 健康のひろば

院内報

2008.

1

月号

ホームページ <http://www.kakegawa-hsp.jp/>

愛365日 掛川市立総合病院



## 華やかな花 ありがとうございます

当院に掛川園芸商組合のみなさまから、  
たくさんのお花などを寄贈していただきました。

たくさんのお花や観葉植物の鉢植え  
をプレゼントしていただき、玄関を中心に  
院内に飾らせていただきました。ご厚意、本  
当にありがとうございました。



### C・O・N・T・E・N・T・S

#### 23 新年のご挨拶

病院の概況  
人事異動

#### 4 ナースキャップ

● 助産師・看護師募集中!

詳しくは、管理課 庶務係 ☎0537-22-6211まで

明けましておめでとうございませう。

いつも掛川市立総合病院をご愛顧くださいます。心より感謝申し上げます。

掛川市は、現在人口11万5,000人余り、面積266平方キロ、美しく豊かな自然が広がる、歴史あるまちです。これからも健康で平和な都市に成長することが期待されています。

掛川市立総合病院としても、患者様中心の医療サービスの提供に努め、地域中核病院の使命に応えるとともに、健康安心サロンによる予防医学の充実にも一層努めて参ります。

### 昨年の国内・掛川市

昨年は、なにかと景気回復が言われ続けたものの、依然、庶民にとっては実感の乏しいものとなっております。そのような中、社会保険庁の年金記録問題が社会を大きく揺るがし、夏に行われた参議院選挙では、与野党逆転の「ねじれ国会」を生み出す結果となりました。また、相次ぐ食品の偽装問題など、国民の健康や安心安全の社会を揺るがす出来事が多発しました。平成20年の今年こそは、明るい話題が多い、安心して生活できる社会にしたいものだと思えます。

掛川市では、合併によってできた新しい掛川市のもと、私たちが目指す将来都市像と、その

# 新年



## 中東遠の中核病院としての役割を果たすために

掛川市長 戸塚進也

実現に向けたまちづくりの指針を示す「第1次掛川市総合計画」が策定され、市民の皆様にお示しすることができました。この中で掛川市の将来像を「海と山と街道がつながり、夢・未来を創るまち」健康・安全・安心・幸せを感じるまち、掛川として、皆様と共に、協働によって地域を支えることを目指しています。市民の皆様からなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 新病院に向けての協議始まる

一方、医療の面では、市は約二年にわたり病院の将来のあり方について、様々な有識者、学識経験者等と共に議論を重ねて参りました。その検討結果を踏まえて、昨年10月2日、隣市の袋井市長との会談を行い、両市議会の了承をいただき、共に病院の生き残りをかけ、統合に向けての協議に入ることを確認しました。それに伴い、11月1日には、統合問題を円滑に進めるための「掛川市・袋井市新病院建設協議準備会事務局」を当市役所3階に設置しました。ここでは、双方の市からスタッフが派遣され、協議会委員の人選や協議すべき項目がまとめられ、新病院像や建設場所、規模、時期などの協議を進めていくこととなります。ここでの協議内容については、市民の皆様にも是非とも注目していただきたいと思います。

そのような協議が進められつつも、掛川市立総合病院は、厳しい環境の中にあります。慢性的な医師不足の中、開業医の先生方と病院の機能分担を図るため、一昨年始めた新しい救急医療体制とともに、病診連携を一層推進していきます。

また特産の掛川茶の医療への効用について研究を進める「緑茶医療研究センター」の活動もさらに活発となり、昨年オープンした「睡眠医療センター」も、当院の独自の活動として、たいへん注目されています。今後とも、より高度な医療と「愛365日」を合い言葉に病院職員のチームワークで、地域の皆様から全幅の信頼を寄せられるよう専心努力いたします。ますますのご愛顧、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

### 病院の概況

(11月)

| 区分      |         | 人数 [名] | 前月対比 [名] |        |
|---------|---------|--------|----------|--------|
| 患者数     | 外来      | 延べ     | 19,804   | -1,235 |
|         |         | 1日平均   | 943      | -13    |
|         | 入院      | 延べ     | 10,943   | 250    |
|         |         | 1日平均   | 365      | 21     |
| 赤ちゃん誕生  | 男子      | 10     | -10      |        |
|         | 女子      | 19     | 3        |        |
|         | 計       | 29     | -7       |        |
| 人間ドック受診 | 1泊2日コース | 10     | 3        |        |
|         | 日帰りコース  | 延べ     | 684      | -36    |
|         |         | 1日平均   | 32       | 0      |
|         | 脳ドック計   | 4      | 0        |        |
|         |         | 計      | 698      | -33    |

# 賀 謹

明けましておめでとうございます。

2008年を迎え、心より新年のご挨拶を申し上げます。今年こそは皆さまがたにとりましても、当院にとりましても、夢のある希望に満ちた年であって欲しいと願っております。

医療をめぐる環境はますます厳しさを増し、全国の自治体病院は最悪の状態に陥っております。しかし、どのような社会情勢になろうとも、中東地域の中核病院として、「愛365日」の精神を持って、この地域の皆様に満足と安心をもって受け入れられる、より質の高い医療を提供することに努めていきたいものと存じます。

## 昨年の業務を振り返って

一昨年の診療報酬改定では、薬価・本体あわせて3.16%の引き下げが行われ、病院経営を取り巻く医療環境はますます厳しくなっており、一昨年の経営状況報告では、3億1,752万円の純損失となつてしまいました。昨年も病院職員一同、収益の確保と経費の削減に努めましたが、今年度もより一層の経営努力が必要になると思われまます。

## 新病院へ向けた話し合いが始まる

当院がこの場所へ建てられてから、本年度23年が経つことになり、設備面での老朽化が目立つて



# 質の高い医療の提供のために

院長 五島一征

参りました。さらに医療の高度化が進み、当院の医師不足も、全国の例にもれず深刻であります。国は医療費の抑制のためにベッド数の削減を政策としており、建て替えのためには、ベッド数の削減が必須となっております。

また、建て替えを行うにしても、この地域の医療レベルの維持には、当院ひとつではたいへん難しい状況であります。

そのような中、昨年には「掛川市立総合病院のあり方に関する検討委員会」の提言が提出されました。その中で、同じく立て替えの時期にある隣の袋井市民病院との統合、周辺自治体病院との連携、統合、再編などによる新病院の建設が提言されました。

その提言や市議会での議論を踏まえ、昨年11月1日に「掛川市・袋井市新病院建設協議準備会事務局」が市役所に設置されました。12月21日には正式に協議会として発足し、第1回目の協議が12月26日に行われました。これから、両市で病院の建設を行うことになった場合、どのような病院がふさわしいのか、場所はどこのか、いつ頃建てるのか、などの話し合いが進んでいくこととなります。

新しい病院は、現在、不足が著しい医師・看護師や当院で働くすべての職員にとつても、専門的な医療や勉強をする余裕があり、また何よりも働きがいを持って働くことができる病院にしていかなければなりません。そのためには、多くの皆様のご理解とご意見を伺っていくことが必要となります。昨年は、地区集会にも参加させていただき、当院の置かれた状況と今後のあり方についてご説明し、ご理解をいただけるようお願い致しました。今後も、当院の進べき

### ■お願いします

#### 採用職員

- ◇非常勤看護師 (11/26付)  
栗原すみ代 人間ドック係
- ◇非常勤事務員 (12/1付)  
松本由美子 医事係

### ■ありがとうございました

#### 退職職員

- ◇研修医 (11/30付)  
曾我真弓 医務局
- ◇非常勤准看護師 (11/30付)  
本田敦志 病棟4階西

方向性について、皆様のご意見とご協力をお願い申し上げます。

## 今年の病院

皆様から寄せられる当院への期待も、今後ますますに高まっていくものと思われまます。

当院は本年も、掛川市そして周辺市町の2次救急病院、そして急性期の医療機関として高度で安心できる医療を皆様に提供していくとともに、地域内の開業医院との連携を大切に皆様の信頼を深めていきたいと考えております。

多くの診療科で医師が不足し、皆様にはご迷惑をお掛けしております。医師確保には最大限の力を注ぎながら「愛365日」の心で、優れた医療を提供していきます。

本年もよろしくご指導のほどお願いいたします。

看護部  
だより

# ナースキャップ

No.8

## 防災訓練

その時  
あなたは…

19.12.2

### 19.11.14 安全な医療の 提供のために



#### 講演会より

医療安全管理室 青木春美

安全管理室の仕事をして一番感じることは、コミュニケーション不足です。医療者側の様々な考えが、患者様やご家族に伝わっていないと感じる事例が大変多いです。

今回の医療安全講演「医療訴訟の現状と対策」でも、最初に先生が言われたのが、コミュニケーションの重要性。今、病院が必要とする5つの項目は、まず、地味な活動であるが守りの美学と言われる「インフォームド・コンセント、接遇、記録」の3つ、そして4つ目は、地域が求めている救急時の対応、5つ目は、事故が起こったとき、何をすべきか考える。「24時間以内」という時間帯が患者様

にとっても医療従事者にとっても重要な時間であることを認識することだそうです。

患者様から「先生に会いに来たよ」と言われる人間関係があれば医療訴訟は起きないという。常に相手の気持ちを思いやり、患者様と共にいい医療の提供をしていきたいと考えています。



順天堂大学医学部 病院管理学  
小林弘幸教授



トリアージ中

2西 柴田葉子  
今回の防災訓練で私は、黄色にトリージされた患者の処置、介助、ケアにあたりました。役割を指示され、診察室の環境を整えることから始まりました。大騒ぎをしながら、なんとか体勢ができたところで、次から次へ患者役が搬送されてきました。患者は迫真の演技で、痛みを大声で訴えたり、たくさんの要求をします。縫合などの処置がされ、検査、入院へ…。

なにより私は、感情的にならずにいられるのか。多数の患者様に処置の順番を付け、場合によっては「お帰りください」など普段考えられないことを言わなくてはなりません。苦しんでいる方に順番を付けることは酷なことですが、ルールがなければパニックになります。

災害は起こらないことが一番ですが、いつか必ず来るものと思っていなくてはいけません。今回、訓練に参加し、少しでもイメージができてよかったです。



クロスロード (イメージトレーニング) 研修